

# リポート 東構協

1996年(平成8年)

第 6 号

(3月25日)

発行 東京鉄構工業協同組合  
〒104 東京都中央区八丁堀3-9-5 KSビル6階  
TEL 03 (5566) 1 5 9 5  
FAX 03 (5566) 1 5 9 5



経営対策全員協議会のもよう



## 原価割れ断る勇気を

理事長 金子 升一

昨年は、阪神淡路大震災に始まり、オウム真理教によるサリン事件、神話であった銀行の倒産、不良債権による経済界の混乱など、暗い大きな事件が跡を断たない1年でありました。政府の経済対策として14兆7千億円に上る追加事業を発表し、景気回復の兆があるかと期待され、かつ公定歩合の引き下げ、為替の円安への動きなどもありましたが、一向に明るさが見えないまま不安定な激動の年でもありました。

私達業界を取り巻く環境も同様に厳しさが一層増大し、景気回復の道はまだまだ遠い先のように思われますが、我々はこのような環境の中であって一生懸命頑張って、良い製品をいかに安く作るか努力して参りました。世の中、価格破

壊の名の下に自分自身の行動を見失うような市場秩序となり、この無秩序な鉄骨市場の早期安定、回復こそが我々の悲願であります。

業界の活路を見い出し、積極的な行動の一環として、まず関東支部内のHグレードが団結して、H協議会が発足したことは組合員の知るところです。H協議会の幹事の方々には並々ならぬ努力を重ねられ、全体会議、幹事会はもとより商社との懇談会も定期的に開催されるようになり、関東支部からは1都9県の提言を取りまとめ、全構連に対し「経営対策に関する提言」として提出しました。

その結果、現在の状況が続けば適正な品質の鉄骨を社会に供給することは不可能となり、当業界の社会的使命が果たせなくなっ

まい、また、現状の発注価格ではトン当たり数万円の原価割れを来たしているのが実態です。企業経営面からはすでに体力の限界に達しており、鉄骨製作者が多数倒産廃業に追込まれるのは必至となってしまう事態を踏まえ、全構連は、『適正価格での発注のお願い』を作成、また東構協も独自にお願い書を作成し、10月1日より一斉に見積書に添付することになりました。組合員の皆様も、対御客様との折衝に心労があったことと存じます。

新年度は正に原価に満たないものは「ハッキリ断る」勇気と、なお一層の企業努力を持って協調と団結により、我々の業界にも早く春が来ることを望んでやみません。(那須ストラクチャー工業(株)専務)

# ＜値戻し運動全員協議会＞

## ＝ 協調と団結を再確認 ＝

1月18日、新宿区のホテル海洋で「値戻し運動」全員協議会が開かれた。95年9月20日に開いた緊急経営対策全員協議会に続く第2弾の組合員全員参加の協議会で、昨年10月1日から実施している値戻し運動の経過報告と、今後の展開などについて活発な意見が交換された。以下、内容を報告します。

なお、当日は全構連関東支部の経営対策委員長とともに関東支部Hグレード協議会の会長を務める吉田隆彦氏（群馬・吉田鉄工所専務）の来賓をおおいだ。

## 『経営対策全員協議会』 議事要旨

### 〈値戻し運動の状況〉

値戻しのお願については、G Cが理解を示すところはあるものの、下記のような意見報告があった。

- ・永い得意先から逆に協力を依頼され、断り切れない苦しさがある。
- ・一度断ると商売が切れる。
- ・理解は示すが、安いところがある以上価格は上がらない。
- ・受注して損、遊ばして損を見較べて経営している。
- ・価格は上から下におよぶ、Hの頑張りを期待する。
- ・小物件にMが手を出して困る、秩序ある営業を望む。
- ・商社が他ファブをかついで安値受注の防止策はないか。
- ・Rグレード物件でも他県に流れており防止策はないか。
- ・地区別テーマ物件処理システムは地区の団結が裏付けとなる。
- ・値戻し運動は今をおいてない。

### 〈要望事項〉

施主に対し、例えばランニングコストを含めて『良い建築をお求めの方は多少高くても認定工場へ』等をマスメディアによるPRを行う。

- ・エンドユーザーにアナウンス効果を与え認定制度の認識を高める。
- ・役所の担当者に認定制度（特にRグレードに対し）に対する認識、理解を高める必要がある。
- ・図面指定にMグレード指定はあるがRグレード指定は皆無である。
- ・認定取得の為の努力はしても社会的評価は上がらず、高さ9m以下の制限では3階建も出来ないの、Rグレードのメリットが感じられない。
- ・Rの実態に見合った制度を作って欲しい。  
建設業会、設計業会にも認定制度に対する理解認識を高めるPRをすべきである。
- ・ファブが何を発信するのかを念頭に日頃の活動をしなければならない。
- ・S造はRC造に較べて官庁への届出書類が多い、又サッシュもS造の方が高い、ベースパック等を含めるとRCに較べてS造が10万/坪高く不利になっている。
- ・見積費用が馬鹿にならない、有料化できないか、又共同積算システムの導入により負担を減らせないか。
- ・共同積算について賛成多数で準備委員会を設置した。アンケート調査により各社の意見、積算費用等の実態調査を行うことに決定。

- ・SRC100t位の物件を希望値、例えば20万/tで頑張り、実績を上げ、大型物件の価格値戻しを図る提案があり、賛成者（Hグレード）があった。
- ・Rグレード会の設置

## 吉田関東支部経営近代化委員長

- ・テーマ物件、区、市単位で実施したら良い。
- ・自分達が相場を作っている、良い値段で受注した話を広める努力をして欲しい。誰かが良い値段で受注すれば、各自に回ってくる。
- ・今年は『値戻し運動』をいかに継続するかが課題である。
- ・社会的地位の向上は自らがどうやって認めさせるのか、日常活動でどのように発注者と接点を持ち、その人達の理解を深める努力をしているかが重要である。組合員各位が自ら行動すると共に執行部の指導性が求められる。社会と共に歩む会社、歩む団体としていかに行動しているか、行政に対する協力を日頃から行う等、日常活動で関係先とコミュニケーションを図る機会を多くする努力をしなければならない。取引先単位で、出入り業者の仲間作りをする等、諦めずに一步一步の積み重ね活動を続ける。

## まとめ：金子理事長

- ・値戻し運動の成功には組合員意識のなお一層の向上が求められ、その為にも組合を活用されたい。
- ・何もかも一式受注の習慣を改める必要があり見積講習会を開催する。実務者の受講を望む。
- ・値戻し運動の成功は自らが守ることが肝要。



粘り強い値戻し運動の展開で一致



協議会終了後に和やかに新年会

## 「Rグレード部会が発足」

経営対策全員協議会で提案されたRグレード部会の設置について2月24日、発起人4名が組合事務所に集まり、第1回の打合せ会を持った。基本的には、Rグレードファブが直面している軒高制限の緩和について、関係各方面に働きかけていくことで一致した。近く第2回の会合を開くとともに、ア

ンケート調査を実施していく。

東構協のRグレードファブの意志統一を図ると同時に、関東支部の同業者とも話し合いの場を設ける予定。

各地区の世話人は次の通り。

◇南地区＝城所勇・城所鉄建工業社長（代表）◇東地区＝辻義正・辻工作所社長◇西地区＝森



組合事務所で第1回会合

屋武・モリヤ鉄工社長、橋本明・橋本鉄工社長◇北地区＝堀江泰志・東亜鋼業専務

# 地区活動状況報告

## 東地区

地区長 松本 英一



今年もリポートを書く時期が来た。が、今回はなかなか筆が動かない。地区活動にしても、毎年同じ事で特に報告する事もない。ただ、この業界が一段と暗くなっている事は感じられる。このところ単価面でわずかに光明が見えた様な気がしたが、材料費が上昇しているため、採算面の好転にはほ

とんど影響ない様に思われるが、どうでしょうか。また、支部活動で懸命に値戻し運動を行なっているにもかかわらず、未だに抜けがけ安値請けして活動の足を引っ張る同業者がいる。秩序を維持していくには、全員一致の協調と団結が不可欠です。皆さんがんばりましょう。(松本工業(株)社長)

## 西地区

地区長 松田 清明



今年度は、地区活動としては、年1回の工場巡回パトロール以外は実施致しませんでした。西地区会員の皆様には申し訳なく思っております。11月に地区技術委員で

会合を持ち、パトロールについての意志統一を図り、2月中にすべての認定工場のパトロールを完了しました。

技術委員からの報告では、各工場によって認定制度に対する取り組み方に大きな差が認められるということであった。認定時審査委員による要望事項が全々手つかずの工場もあつたり、前もって連絡したパトロール日を、現場に行ってしまうので変更してもらえないか、と前日に電話してきたり、およそ前向きに取り組んでいるとは

思われぬ工場もあつた。

その半面、この不況下にありながらも真剣に取り組み、前回に比してかなりの改善が認められる工場もあつた。

一方、各工場からも、全構連・東構協及び地区に対して様々な要望があつた。

思うに、工場巡回パトロールの実施方法、ひいては制度そのものについて考え直す一つの転機にきているのではないか。技術委員を出す会社の負担も相当なものであります。(松田鋼業(株)社長)

## 南地区

地区長 榎本 敏昭



今年1月より平成7年度の検査パトロールを行っておりますが、長引く不況のため、工場を閉鎖及び移転等の理由で、南地区CDグループ14社の内9社しかありませんでした。前もって電話連絡をしても「当社においては、その日前後は全く製品がありません」との

返事。パトロールを行えた工場においても、不況のため書類関係を担当していた社員が退職し、せっかく確立した制度が元に戻ってしまい、記録が何も残っていない会社も多々あり、非常に残念に思う。

しかし、Rグレードの中にも、鈴木鉄工建設(株)、(株)佐久間鉄工等は、品質的にもMグレードと変わらない技術、また管理も大変良く感じられた。ただ、現在Rグレードの会社において、抱えている問題がRグレード工場認定制度の規約であると思う。

特に高さの問題である。現在Rグレードの高さ制限は、9mとあるが、3階建ての建物の場合、ペ

ントハウスがつけば当然9mをオーバーしてしまう訳である。9m以下の建造物の受注しか出来ない現状では、せっかく努力してがんばっているRグレードの会社は、大変な矛盾を感じざるをえないと思う。面積及び梁間については、現在より下げても問題はないとしても、高さ制限においては、早急に全構連工場認定制度を再検討の必要があるのではないだろうか!!

現在全国のRグレード会社の中で自社で営業し、ゼネコンから鉄骨工事を受注し加工を行っている会社においては死活問題である。

しかし、ここで矛盾を感じざるをえない件として、ゼネコンでは

なく、H及びMグレード会社から専門に仕事を受注しているRグレード会社が数多く存在している事です。H、Mグレード会社の名の傘の下で、認定制度の枠から外れ、低

価格での受注を余儀なくされているのが現状である。次の代に会社をまかせようとしている現在の社長としては、経営においての苦労は当然であるから「せめて今のう

ちに環境作りだけはしておいてあげたい」との声を聴いた。Mグレード会社よりRグレード会社の方がより効率的な仕事があるのではないだろうか。(株)中島鉄工所社長)

## 東京鉄構工業協同組合 賛助会員

会 社 名	〒	本 社 ・ 所 在 地	TEL	取 扱 主 商 品
		東京都内営業所所在地		
大 日 本 塗 料 (株)	144	東京都大田区蒲田5-13-23 蒲田シティビル	03-5710-4501	塗料全般
大同生命保険相互会社	101	東京都千代田区神田司町2-6	03-3258-6200	生命保険
エヌケーケー トレーディング(株)	135	東京都江東区佐賀2-1-45	03-3660-1561	鋼材全般、エクセル ビーム
野 水 鉄 興 (株)	101	東京都千代田区神田西福田町 3	03-3256-0271	一般鋼材、非鉄化成品
本 多 酸 素 (株)	133 340	東京都江戸川区北小岩2-33-19 千葉県八潮市大字木曾根字下1218-1	03-3658-2121 0489-95-9151	高圧ガス、溶接材料
(株)東京ネジ製作所	124	東京都葛飾区西小岩5-3-18	03-3696-6661	高張力ボルト他
(株) 荅 和 検 査	276	千葉県八千代市上高野1082	0474-85-8990	非破壊検査
東日本工業検査(株)	263	千葉県千葉市稲毛区長沼町247-45	043-286-1173	非破壊検査
ニチコン(株)東京支店	143	東京都大田区大森北1-6-8 東伸24大森ビル 5 F	03-5493-3611	力率改善装置、 各種コンデンサ
愛 知 産 業 (株)	141	東京都品川区北品川5-5-12	03-3447-0201	各種溶接機器、溶接用ワイ マー他、溶接関連機器他
丸 越 機 工 (株)	144	東京都大田区新蒲田3-15-21	03-3737-0651	機械工具機具、溶接機材、 測定機器、荷役機器、日立 ハイベース
カ ネ マ ス (有)	659	兵庫県芦屋市浜風町5-5	0791-31-1733	鉄構工業用安全皮手袋
協 和 溶 材 (株)	106	東京都港区東麻布2-21-4	03-3505-8661	溶材、高圧ガス、検査器具 類
(株)ドッドウエル ビー・エム・エス	104	東京都中央区銀座1-14-9 銀座スワロービル	03-3561-9331	S/F、マスターV、ライ ナー、ジュニア、他コン ピューター関連機器
松下電器産業(株) 東 部 F A 営 業 所	105 105	東京都港区芝大門1-1-30	03-3438-5067	溶接装置、機器、各種ロボ ット
石 原 薬 品 (株) 東 京 支 店	652 114	兵庫県神戸市兵庫区西柳原町5-26 東京都北区田端新町3-16-4	078-681-4801 03-3810-1621	スパッター付着防止剤 (ユ ニコン・ノン・スパッター)
ダ イ ニ ッ カ (株) 東 京 支 店	104	東京都中央区八丁堀1-9-5	03-3552-3151	建築汎用、重防塗料一般、塗装、 防水、建物リフォーム、家具、イ ンテリア商品、化学品、作業服
アメリカンファミリー 生命保険会社神田支社	101	東京都千代田区神田美土代町7 神田第2中央ビル	03-3258-7871	がん保険、介護年金保険、 医療保険
富 士 見 興 業 (株)	166	東京都杉並区高円寺南1-27-11	03-3314-5712	溶接材料、工具、鉄骨加工 省力機械、産業機械、産業 設備機械、各種高圧ガス
A I U 保 険 会 社 青 林 保 険 事 務 所	110	東京都台東区東上野3-18-7 東京建物ビル 3 F	03-3839-7216	損害保険商品
(株) 小 の 鉄	168 193	東京都杉並区下高井戸2-1-7 ロノプラザ202 東京都八王子市目町745	03-3322-5101 0426-54-2611	一般鋼材、コラムH加工販 売、住宅機器全般

# 青年経営者委員会 活動報告

## (幹事長あいさつ)

黒沼 忍



新年度を迎えるにあたって一言ごあいさつ申し上げます。大変厳しい経営環境の中、皆様頑張っておられることと思います。今年度の事業計画は別表で出ていますが、そのほかでも皆様の御提案があれば具体化したいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

赤字を出して当たり前の様な空気が蔓延しているようですが、赤

字を出すということは社会がその企業（業界）を認めていないということで、社会の要求に答えていないということだと思います。社会の要求に対応するのは当然の事であり、それができなければ生き残れません。そんな時こそ智恵を出し合い頑張らなければいけない時だと思います。

多くの皆様へ青経委事業の参加を希望致します。(大伸鉄工(株)専務)

## 東構協青経委フォーラムⅢ

### 発言要旨

### 「ファブに未来はあるか」

- 小林 一弥(弥生建設工業(株)常務)……ゼネコンも給与の一部カットが始まった。下請けにこれ以上の締め付けは無理との現況認識をしている。当分の間受注単価が上がるとは考えにくいので、社内の製作費の引き下げに努力して行くしかないと考えています。
- 鈴木 二(株コバ建取締役)……Hグレードを取得したおかげで大手ゼネコンからも受注出来るようになりました。また最近受注単価が上がり、赤字からトントンになってきましたが、工務店の発注差し値も厳しく、まだまだという状況です。製作費を引き下げよう努力しています。
- 関根 泰則(南三協鉄工所社長)……工場を新築した関係で運転資金に困ってしまい、工場を半分他に貸すことが決まりました。安定収入につながり、何とか生き残れると考えているのが現状です。未来はあるか疑問です。
- 白柳 雅弘(松田鋼業(株)主任)……良い仕事が受注できないのが現状です。近い将来、プレハブに建築住宅業界関係の仕事の多くが受注される傾向にあると考えられますので、業界の対応が必要と考えます。
- 川合 賢一(江戸川鉄構(株)次長)……現状は白川の移転でBH柱の製作がなくなりましたので、また、造船関係の仕事は数年前より不振で東京工場は閉鎖が決まりました。川崎のNKK工場内の川崎工場でショットブラストをメインに、耐震補強に力を入れて営業展開して行くしかないと考えております。生き残るには一本ではなく、二本三本の柱がないと生きて行けないと考えます。
- 角鹿 勝保(株角鹿鉄工専務)……鉄骨工場は自社所有ですが、ストックヤードは借りていますので、返却する方向で考えております。新工場予定地に建て売りを建て総合建築業に変更していく方向で考えております。
- 澤 俊光(株東洋鉄骨社長)……売上は10%のダウンです。兄の会社が総合でやっていますので、足場組から何でも手伝って行きます。ファブは下請業を脱しないと生き残れないと考えます。
- 堀江 泰志(東亜鋼業(株)専務)……幸い無借金ですので他社より少し楽な状況です。客先は木造工事が多くなり仕事量が減っています。お客様を増やすしかないと考えていますので、一部総合受注を始めました。当分の間ファブは駄目だと思います。シャッター工事も大変

少なくなり、お先真っ暗という状況です。何とか生き残るように頑張ります。

涌田 陽造(わくた工業(株)設計部)…本年1～4月は仕事がなく遊んでいましたが7月以後は仕事が取れるようになり、何とかなっております。商社より仕事を貰うようになり、何とか遊ばないでやっている状態です。将来鉄骨一本でやって行くのは無理と考えます。

中川内伸吉(株)中川鉄工所取締役)…鉄骨本体工事はなく、架台等を集めて仕事をしております。10t位の仕事が良い方ですが、単価は少し良いけれど経費がかかるので大変経営は難しい。耐震補強の仕事が少し出てきましたが、単価は安い方向になって来ていますので先行きはどうか？と考えます。

牛島 修身(有)牛島工業所取締役)…製缶業務が中心ですので営業に力を入れております。鉄骨の値段は安く難しいと思います。ステンレスプールを製作していますのでステンレス・鉄・何でも出来るというスタンスで、また、新しい分野に進出して行くしかないと思って考えています。

安原 芳宣(株)安原鉄工所専務)……近所の鉄工所が大東建宅の仕事をやっていますが(未確認)仕事が多く大変忙しいとのこと。また、超音波検査も何も無しでひどい仕事をしてはいますが、それで済んでしまう現実があるのでショックです。鉄に関する仕事なら何でもやって行く考えです。工場を一部貸す方向で考えております(共同で新しい仕事をする)。未来はないと考えますので何でもやっていくつもり。

吉岡 晋吾(吉岡工業(株)専務)……短納期の製作ミスが多く大変困っています。残業が増えミスが出易い環境になっています。頑張るしかないと思います。

辻川公一郎(株)辻川鉄工所社長)……受注は増えていますが単価が安く赤字の状態です。資格云々は無しで仕事をする方向に環境を変えて行かないと将来はないと考えます。間接経費を減らすように組合で運動していく必要がある。

● ● 平成 8 年度 主要事業計画 ● ●

〈青経委平成 8 年度事業計画〉

主要事業予定

No	名 称	開催予定	人 数	場 所	備 考
1	見積・損益早見表講習会	4月	30名		地区単位
2	第10回通常総会	5月22日		鉄鋼会館	
3	SN材等に関する講習会	5月22日 総会当日	90名	鉄鋼会館	講師 鋼材クラブ
4	第8次3回目認定申請受付	6月3日 ～7月15日			
5	従業員・家族合同リクリエーション	6月	30名		
6	JASS 6 改訂講習会	7月	50名		
7	鉄骨検査技術者資格学科試験 受験者向講習会(精度) 同上(超音波)	7月初旬 7月初旬	関東支部合同	溶接技術 センター	試験7月中旬
8	第8次3回目 新規、変更 申請工場向特別講習会	7月	20名	組合会議室	
9	申請工場実態調査	8月1日 ～10月19日			
10	従業員・家族合同リクリエーション	9月	30名		
11	NDI 技量認定、受験講習会 後期(学科) 々(実技)	9月初 11月初	20～30名 10～15名		試験9月11月
12	溶接技能AW試験受験講習会	9月	30名	都須スタジオ	(含安全教育)
13	鉄骨製作管理技術者資格 受験者向JASS 6 講習会	10月 2日間	50～80名	鉄鋼会館	試験10月中旬
14	鉄骨検査技術者資格実技試験 受験者向講習会(精度) 同上(超音波)	10月下旬 11月中旬	関東支部合同	溶接技術 センター	試験11月中旬 試験11月末
15	従業員・レクリエーション	11月	30名		
16	工場パトロール	11月～2月			

年	月	事業計画	備考
平成 8 年	4月	財務講習会	損益早見表
	5月	第6回 通常総会	
	6月	JASS 6 改訂講習会	
	7月	他県青年部交流会	
	8月	納涼会	
	9月	'98秋 NDI 超音波 学科対策講習会	
		ハゼ釣大会	親会行事 運営
	10月	不具合処理勉強会	
	11月	休	
	12月	忘年会	
	同時開催	Tokyo Steel Forum Part.4	
	平成 9 年	1月	休
2月		講習会	外部講師による
3月		工事場見学会	

1 関係団体の講習会予定(参考)

①(社)日本溶接協会東京都第一支部 (☎03・3685・5448) 実施場所 産学協同センター

(アーク溶接作業従事者特別教育=3日間教育)

学科 5月8・9日、7月3・4日、9月4・5日、実技 5月15日、7月10日、9月11日

(JIS溶接技術検定試験日)

4月6・7・20日、5月11・12日、6月1・2・15日、7月6・7・20日、8月3・4・31日

なお、同協会支部は東京都第一支部のほか下記もあります。お問い合わせの上、受験して下さい。

東京都第二支部 (☎03・3733・4971)

②(社)日本溶接協 (☎03・3257・1521)

(WES8103 1、2級資格認定) 第1期

講習会 1級対象=4月9日及び4月21日~2級対象=4月13日及び4月28日~

試験 1、2級共=筆記6月2日、\*口述7月7日(\*講習会の受講修了者は免除)

③(社)ボイラ・クレーン安全協会 (☎03・3685・5445) 学科:機缶健保会館(江東区亀戸)

講習等の種別	月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12
玉掛技能講習		11. 12	16. 17	13. 14	11. 12	8. 9	12. 13	8. 9	14. 15	12. 13
		14	19	16	14	11	15	13	17	15
クレーン運転業務 特別教育		22. 23		26. 27		27. 28		22. 23		17. 18

なお、八王子労働基準協会でも下記の予定があります。(0426・24・5261)

◇ 玉掛技能講習会、クレーン運転特別教育講習会=平成8年7月10・11日、実技7月14日

④(社)日本非破壊検査協会 担当:技量認定委員会(03・5821・5104)

1種技量認定試験、超音波探傷検査UD 1次試験 9月 2次試験 12月

(事務局からのお知らせ)

第10回通常総会(予告)			
日 時	平成8年5月22日(水)		
場 所	鉄鋼会館		
予 定	総会	2時~4時	801号室
	SN材に関する相談会	午後4時~5時30分	◇
	懇親会	午後 2時~4時	701号室

※東京都中小企業団体中央会から自主研修事業補助金 183,720円交付を受け、講習会費用に充当しました。

○新規組合員紹介

会社名	代表者名	〒	所在地	電話 FAX	資本金(万)	年能力トン	認定関係グレード	所 属 地 区
(株)中央建鉄	本橋和哉	181	三鷹市牟礼5-8-24	3302-6774 3302-4895	1,000	600	未	西
(株)鎌建工業	鎌田峰一	144	大田区東糀谷1-1-16	3743-2423 3743-2307	1,000	700	未	北

(平成8年1月31日現在)

編集後記

☆平和な子年ということで、明るい話題を載せたいものと思い、諸方面にお願い致しました。が、結

果はご覧の通り、厳しい我が業界の状況報告が主体となりました。工場の閉鎖、撤退、移転等が業界誌面を賑わしている現状がいつまでも続くものとは思えません。

全員協会で誓い合った“値戻し”を少しずつでも実現できるよう、心を一つにしていくことで、末広がりの特シとなるように祈ります。(M・Y)